

新型コロナウイルス不況、 中小企業を存亡の危機へ

DOR132号（2020年1～3月期景況調査）速報（2020年4月8日発行）

※ DOR（ドル）とはDOyukai Research の頭文字をとったものです
中小企業家同友会全国協議会(<http://www.doyu.jp>)

業況判断・業況水準・売上高・経常利益はすべてが二桁のマイナス20～30に下落！

業況判断DI（「好転」－「悪化」割合）は $\Delta 13 \rightarrow \Delta 31$ 、足元の景況を示す業況水準DI（「良い」－「悪い」割合）は $\Delta 3 \rightarrow \Delta 23$ 、売上高DI（「増加」－「減少」割合）は $\Delta 10 \rightarrow \Delta 27$ 、経常利益DI（「増加」－「減少」割合）は $\Delta 11 \rightarrow \Delta 25$ と、マイナス20～30に下落した。見通し・想定を大きく上回る景気悪化だが、コロナ不況はまだ入り口、底は見えない。

アベノミクスの限界、米中貿易摩擦で疲弊した景況は、2019年10月の消費増税をきっかけにさらに低迷し、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で下押しされ、リーマンショック後に生じたような状態に向けて下降線をたどっている。閣僚からは「リーマンショック並みか、それ以上の可能性がある」との見通しが示された。三重、四重の困難のなか、中小企業は存亡の危機に立っている。

業況判断DIを業種別に見ると、建設業が $\Delta 4 \rightarrow \Delta 15$ 、製造業が $\Delta 25 \rightarrow \Delta 39$ 、流通・商業が $\Delta 16 \rightarrow \Delta 34$ 、サービス業が $1 \rightarrow \Delta 28$ と、マイナス圏で大幅に悪化した。地域経済圏別では、北海道・東北が $\Delta 11 \rightarrow \Delta 23$ 、関東が $\Delta 13 \rightarrow \Delta 36$ 、北陸・中部が $\Delta 17 \rightarrow \Delta 33$ 、近畿が $\Delta 35 \rightarrow \Delta 35$ 、中国・四国が $2 \rightarrow \Delta 24$ 、九州・沖縄が $\Delta 6 \rightarrow \Delta 35$ と、すべて二桁のマイナス20～30に下落した。企業規模別では、20人未満で $\Delta 12 \rightarrow \Delta 28$ 、20人以上50人未満で $\Delta 16 \rightarrow \Delta 35$ 、50人以上100人未満で $\Delta 14 \rightarrow \Delta 38$ 、100人以上で $\Delta 9 \rightarrow \Delta 23$ と、全企業規模で二桁のマイナス圏に下落した。

次期（2020年4～6月期）以降は、業況判断DIが $\Delta 31 \rightarrow \Delta 42$ 、業況水準DIが $\Delta 23 \rightarrow \Delta 39$ 、売上高DIが $\Delta 27 \rightarrow \Delta 35$ 、経常利益DIが $\Delta 25 \rightarrow \Delta 36$ 、と予測。二桁のマイナス30～40に下落が進展する予測である。次期の業種別の業況判断DIでは、建設業が $\Delta 15 \rightarrow \Delta 29$ 、製造業が $\Delta 39 \rightarrow \Delta 50$ 、流通・商業が $\Delta 34 \rightarrow \Delta 52$ 、サービス業が $\Delta 28 \rightarrow \Delta 27$ と、製造業と流通・商業がマイナス50以上に落ち込む予想である。

コロナショックなど従来の売上の激減を予想、スピード感を持って対応していく

採算面では、仕入単価DI（「上昇」－「下降」割合）が $37 \rightarrow 27$ と、10ポイント下落。売上・客単価DI（「上昇」－「下降」割合）も $12 \rightarrow 6$ と6ポイント下降し、仕入単価DI－売上・客単価DIの差も $25 \rightarrow 21$ で下がった。金融面では長短の借入難度DI（「困難」－「容易」割合）の安易化傾向は変わらずだが、資金繰りDI（「余裕有り」－「窮屈」割合）で製造業がマイナス側（窮屈）になった。

雇用面では、正規従業員数DI（「増加」－「減少」割合）は $4 \rightarrow \Delta 5$ と大幅減少し、臨時・パート・アルバイト数DIは $2 \rightarrow \Delta 7$ と初めてマイナスになった。所定外労働時間DI（「増加」－「減少」割合）は $\Delta 11 \rightarrow \Delta 23$ と大幅減少した。また、人手の過不足感DI（「過剰」－「不足」割合）は $\Delta 44 \rightarrow \Delta 31$ と柔らかい。設備投資では設備の過不足感DI（「過剰」－「不足」割合）は $\Delta 17 \rightarrow \Delta 14$ と過剰感が強まった。

経営上の問題点では「民間需要の停滞」が $33\% \rightarrow 42\%$ と顕著な上昇をみせ1位に。代わって、「従業員の不足」が $37\% \rightarrow 30\%$ と凋落し、10期連続の1位から転落した。「人件費の増加」が $35\% \rightarrow 29\%$ で3位であった。特に製造業では、「民間需要の停滞」が $40\% \rightarrow 52\%$ に断トツの1位となった。

会員からは、「コロナショックなど従来の売上の激減が予想される。需要のある商品、客先を見極め、スピード感を持って対応していく。とにかく、厳しい状況は続くと思われるので、財務体質を含め、持続できる経営環境を整える（広島、製造業）」など緊張感ある声も多く聞かれた。

首相は緊急事態宣言を発令、中小企業は連帯の力で危機を乗り切ろう

日銀短観は「大企業・製造業」が $\Delta 8$ と8ポイント悪化し、7年ぶりにマイナスに転落。「中小企業・製造業」も $\Delta 15$ と6ポイント悪化。悪化は5四半期連続になる。GDP（国内総生産）は2019年10～12月期の実質成長率が年率換算で7.1%の大幅なマイナスとなった。

世界中が新型コロナウイルスの脅威に揺れている。4月7日、安倍首相は緊急事態宣言を発令し、経済対策108兆円を用意した。中小企業は「1社もつぶさない」覚悟で、連帯の力で危機を乗り切ろう。

* 本文中断りのない限り、業況水準以外は前年同期比 * 詳細は2020年4月30日発行のDOR132号をご覧ください

【調査要領】

調査時	2020年3月1～15日
対象企業	中小企業家同友会会員
調査の方法	郵送により自計記入を求めた
回答企業数	2,345社より930社の回答をえた（回答率39.7%） （建設174社、製造業291社、流通・商業263社、サービス業190社）
平均従業員数	役員を含む正規従業員38.1人 臨時・パート・アルバイトの数27.5人

新型コロナ大不況、中小企業を存亡の危機へ

主要指標

業況判断(前年同期比)																		
	15IV	16I	II	III	IV	17I	II	III	IV	18I	II	III	IV	19I	II	III	IV	20I
全業種DI	5.7	-3.4	-5.2	-4.7	1.5	2.8	5.0	10.4	13.5	3.0	4.2	5.5	6.9	2.7	-1.7	-2.7	-13.0	-30.9
好転	31.1	26.8	23.9	24.4	28.3	27.9	28.8	31.9	32.8	27.4	28.0	29.8	29.0	27.8	26.3	26.3	20.9	16.4
横ばい	43.5	42.9	47.1	46.5	44.9	47.1	47.4	46.6	47.9	48.2	48.2	46.0	48.9	47.1	45.6	44.8	45.2	36.2
悪化	25.4	30.3	29.1	29.1	26.8	25.1	23.8	21.5	19.3	24.4	23.8	24.3	22.1	25.1	28.1	28.9	33.9	47.3
建設業	8.1	-15.9	-6.4	-11.5	-0.6	5.6	-5.1	4.1	13.4	-1.2	4.6	8.8	2.6	10.7	2.4	8.5	-3.5	-15.0
好転	30.2	19.9	23.1	19.7	26.2	28.0	21.4	27.9	28.7	24.4	28.2	30.6	27.5	32.0	25.9	26.8	23.2	19.7
横ばい	47.7	44.3	47.4	49.2	47.0	49.7	52.3	48.3	56.1	50.0	48.3	47.7	47.7	46.7	50.6	54.9	50.0	45.7
悪化	22.1	35.8	29.5	31.2	26.8	22.4	26.4	23.8	15.3	25.6	23.6	21.8	24.8	21.3	23.5	18.3	26.8	34.7
製造業	-0.6	-1.0	-13.5	-11.5	0.0	-0.4	3.7	13.6	15.1	4.2	7.8	5.6	8.4	-4.4	-7.4	-16.1	-24.6	-39.3
好転	32.4	29.1	19.0	23.6	29.3	28.7	31.3	36.0	35.4	30.2	31.4	33.0	33.8	29.0	26.4	22.6	18.2	16.9
横ばい	34.6	40.9	48.6	41.2	41.4	42.2	41.1	41.6	44.3	43.8	45.0	39.6	40.8	37.5	39.8	38.7	38.9	26.9
悪化	33.0	30.1	32.4	35.2	29.3	29.1	27.6	22.4	20.3	26.0	23.6	27.4	25.4	33.5	33.8	38.7	42.9	56.2
流通・商業	4.8	-6.8	-4.3	-2.8	-3.2	-6.0	5.3	8.0	7.8	2.3	3.0	1.0	5.5	-0.8	-6.8	1.1	-15.5	-34.0
好転	27.5	24.1	25.2	23.9	24.5	22.7	26.9	29.8	31.0	26.9	27.8	27.7	24.5	23.6	22.6	28.3	17.4	16.6
横ばい	49.8	45.1	45.4	49.3	47.9	48.7	51.6	48.3	45.8	48.5	47.4	45.7	56.4	52.1	48.0	44.5	49.6	32.8
悪化	22.7	30.9	29.4	26.8	27.6	28.6	21.6	21.9	23.2	24.6	24.8	26.6	19.1	24.3	29.4	27.2	33.0	50.6
サービス業	18.3	10.5	8.8	11.0	14.0	18.8	14.7	14.4	20.2	5.7	0.5	10.5	12.1	12.9	9.5	4.9	0.6	-28.1
好転	37.8	34.9	30.8	30.9	34.1	35.0	34.2	32.3	35.1	25.7	23.7	28.2	30.1	28.8	31.8	29.3	27.8	13.0
横ばい	42.7	40.7	47.3	49.2	45.8	48.9	46.2	49.7	50.0	54.3	53.2	54.1	51.8	55.2	46.0	46.3	45.0	46.0
悪化	19.5	24.4	22.0	19.9	20.1	16.1	19.6	18.0	14.9	20.0	23.2	17.7	18.1	16.0	22.2	24.4	27.2	41.1

各種調査 業況水準																		
	15IV	16I	II	III	IV	17I	II	III	IV	18I	II	III	IV	19I	II	III	IV	20I
DOR全国	9	-2	-6	-4	5	0	1	9	18	10	5	8	12	4	-3	0	-3	-23
短観(全規模)	9	7	4	5	7	10	12	15	16	17	16	15	16	12	10	8	4	-4
短観(大企業)	18	13	12	12	14	16	20	23	26	23	22	21	21	17	15	13	9	0
短観(中堅企業)	14	12	9	10	12	15	16	18	19	20	20	17	17	13	13	12	9	-3
短観(中小企業)	3	1	-1	0	2	5	7	9	11	11	11	12	12	10	6	5	1	-7
中小企業庁	-23	-29	-27	-27	-27	-29	-22	-22	-20	-25	-20	-22	-20	-25	-20	-24	-27	-36

業況水準 良いマイナス悪い割合%																			見通し
DI表	16I	II	III	IV	17I	II	III	IV	18I	II	III	IV	19I	II	III	IV	20I	20II	
全業種	-2.4	-6.1	-3.9	4.9	0.2	0.6	8.9	18.2	10.5	4.6	7.7	11.5	4.4	-3.1	-0.2	-3.3	-22.6	-39.1	
建設業	-1.7	-1.7	-3.3	10.1	14.9	-9.0	5.3	28.7	18.9	13.2	5.9	24.0	23.2	13.3	24.1	11.9	6.9	-20.2	
製造業	-5.9	-16.8	-12.4	4.2	-13.6	-5.1	10.4	19.3	10.7	2.8	8.9	13.0	-6.6	-9.5	-19.0	-17.8	-40.0	-49.5	
流通・商業	-8.5	-8.5	-3.2	-2.4	-5.9	-0.4	-0.7	12.7	6.3	2.3	2.4	0.0	-1.1	-12.9	-1.9	-6.6	-28.1	-46.5	
サービス業	11.0	8.8	8.3	14.6	17.8	17.9	23.6	16.5	8.1	3.2	16.5	18.2	14.6	6.4	12.3	11.2	-17.1	-31.6	

売上高(前年同期比) 増加マイナス減少割合%																			見通し
DI表	16I	II	III	IV	17I	II	III	IV	18I	II	III	IV	19I	II	III	IV	20I	20II	
全業種	-0.7	-3.4	-6.3	3.6	4.6	7.0	10.3	12.7	4.0	3.1	4.6	6.9	4.8	-0.2	-1.0	-10.5	-27.2	-34.8	
建設業	-11.8	-10.4	-19.2	-5.9	5.0	-9.6	2.3	5.2	-7.2	1.8	-0.6	0.7	8.8	6.6	9.1	-7.0	-12.8	-24.5	
製造業	-4.3	-14.8	-13.3	3.3	0.7	4.0	12.9	16.5	8.3	4.4	4.6	9.2	-1.9	-7.5	-14.7	-20.1	-33.8	-40.7	
流通・商業	0.0	3.2	-2.5	-1.4	-1.5	9.9	8.0	12.5	2.6	2.0	1.7	4.0	3.4	-2.5	6.0	-10.5	-27.6	-40.5	
サービス業	14.5	11.5	11.9	20.4	20.0	22.0	15.6	14.1	8.1	5.2	13.3	15.0	14.2	7.4	3.7	2.4	-29.2	-26.9	

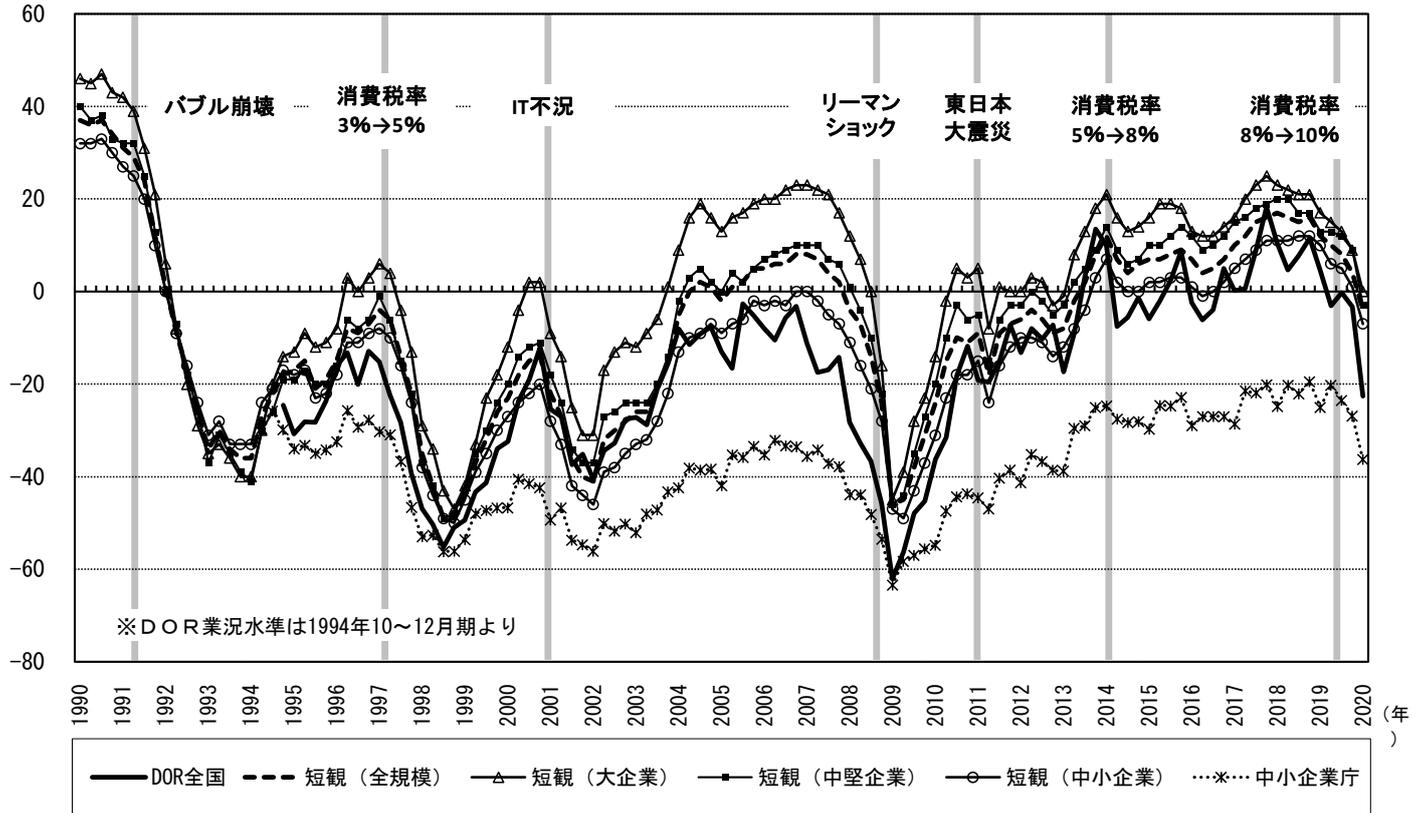
経常利益(前年同期比) 増加マイナス現象割合%																			見通し
DI表	16I	II	III	IV	17I	II	III	IV	18I	II	III	IV	19I	II	III	IV	20I	20II	
全業種	0.6	-3.4	-2.5	1.6	0.9	5.3	6.0	10.6	-1.0	0.5	-1.6	0.0	-0.7	-5.4	-3.9	-10.9	-25.4	-35.6	
建設業	-10.7	-8.5	-9.9	-4.9	-1.3	-9.6	-0.6	14.9	-11.1	2.3	-0.6	-2.0	-1.4	-0.6	5.5	-0.7	-14.0	-24.4	
製造業	0.0	-11.4	-3.8	4.7	-2.5	3.1	9.2	10.3	2.0	-5.0	-6.6	1.4	-4.8	-12.1	-15.9	-24.2	-32.6	-42.8	
流通・商業	-2.1	-0.3	-4.4	-4.9	-5.3	9.6	2.7	4.7	0.8	2.3	-1.7	-5.2	-1.5	-9.0	0.4	-12.6	-27.4	-41.7	
サービス業	17.2	9.6	9.2	11.1	17.6	14.7	11.2	15.9	0.6	6.4	6.2	10.0	8.6	5.4	2.5	4.7	-22.3	-26.3	

仕入単価(前年同期比) 上昇マイナス下降割合%																			見通し
DI表	16I	II	III	IV	17I	II	III	IV	18I	II	III	IV	19I	II	III	IV	20I	20II	
全業種	9.4	8.0	6.6	13.2	22.8	24.2	23.6	31.7	37.9	40.0	40.5	44.6	42.9	42.5	36.4	37.4	26.9	16.9	
建設業	18.7	22.6	19.2	18.2	25.0	23.7	19.2	30.7	29.3	42.5	38.7	41.2	46.0	47.2	49.7	49.6	46.4	35.6	
製造業	3.0	0.3	1.2	9.8	26.6	32.8	31.8	40.7	50.8	53.3	52.8	56.7	56.4	49.8	39.8	42.4	29.6	17.4	
流通・商業	6.8	6.3	1.8	8.9	19.1	14.5	19.7	28.4	33.6	32.2	32.0	42.4	34.0	37.8	30.0	28.5	18.5	8.9	
サービス業	14.5	9.9	9.4	22.4	21.0	24.1	18.9	22.4	29.2	25.6	31.7	29.4	29.7	34.9	25.4	30.6	15.7	10.8	

売上・客単価(前年同期比) 上昇マイナス下降割合%																			見通し
DI表	16I	II	III	IV	17I	II	III	IV	18I	II	III	IV	19I	II	III	IV	20I	20II	
全業種	1.5	-3.9	-2.9	1.2	3.8	3.7	5.8	10.0	8.3	9.7	10.9	15.5	13.9	15.0	12.3	12.3	6.2	-3.1	
建設業	5.9	0.6	-1.1	3.1	9.9	2.9	5.5	14.7	4.9	12.1	10.1	11.8	19.1	16.3	14.0	21.7	11.3	3.8	
製造業	-5.3	-8.8	-6.1	-2.0	-5.0	2.8	5.1	7.4	8.6	9.0	13.3	16.1	10.8	14.9	9.6	4.4	2.8	-6.5	
流通・商業	-1.8	-6.7	-8.8	-3.3	2.4	0.8	5.7	10.2	7.7	7.0	9.0	18.1	15.8	14.6	15.5	9.3	6.2	-3.9	
サービス業	15.4	4.2	11.0	12.6	16.1	10.2	7.2	10.7	13.5	13.6	10.4	14.7	14.0	13.7	11.5	21.6	7.6	-2.4	

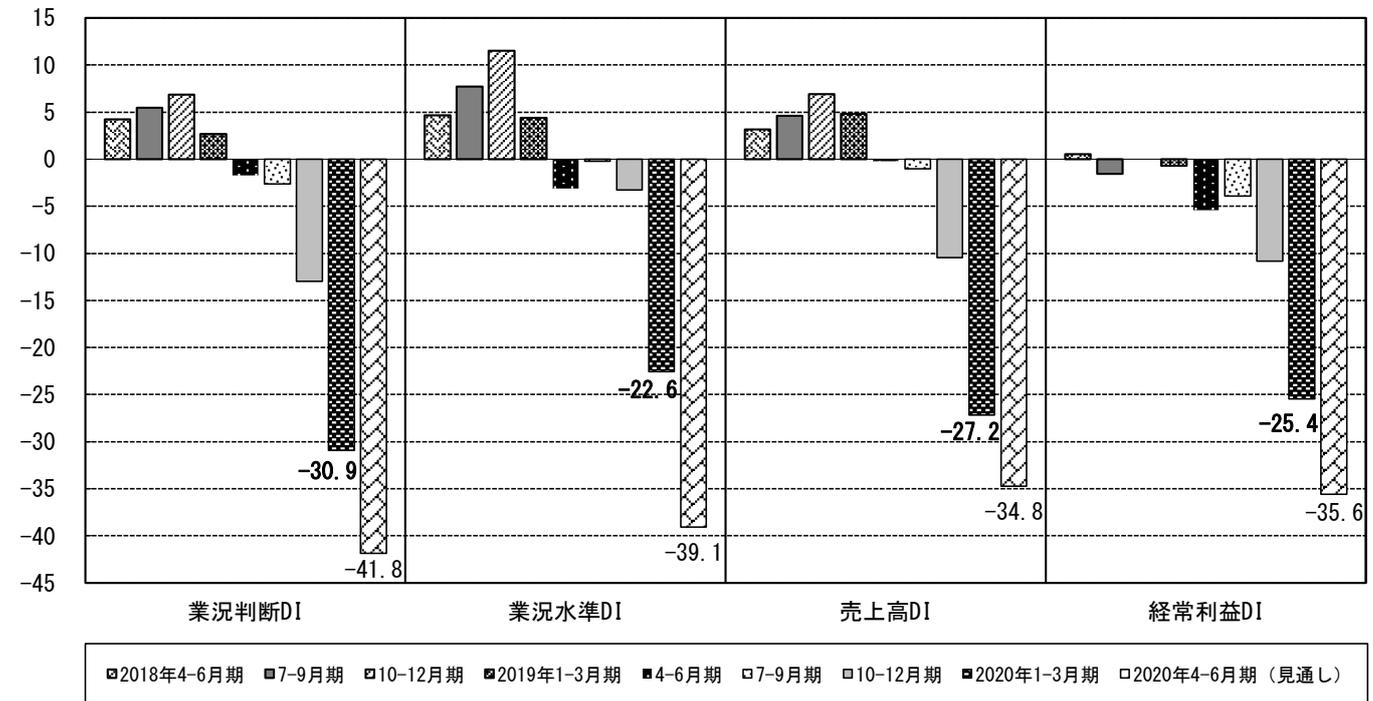
景気悪化の様相色濃く

DOR、日銀短観（全規模、大企業、中堅企業、中小企業）、中小企業庁の景況指数の推移



主要指標、軒並み急降下

主要指標の推移 ※業況水準DI以外は前年同期比

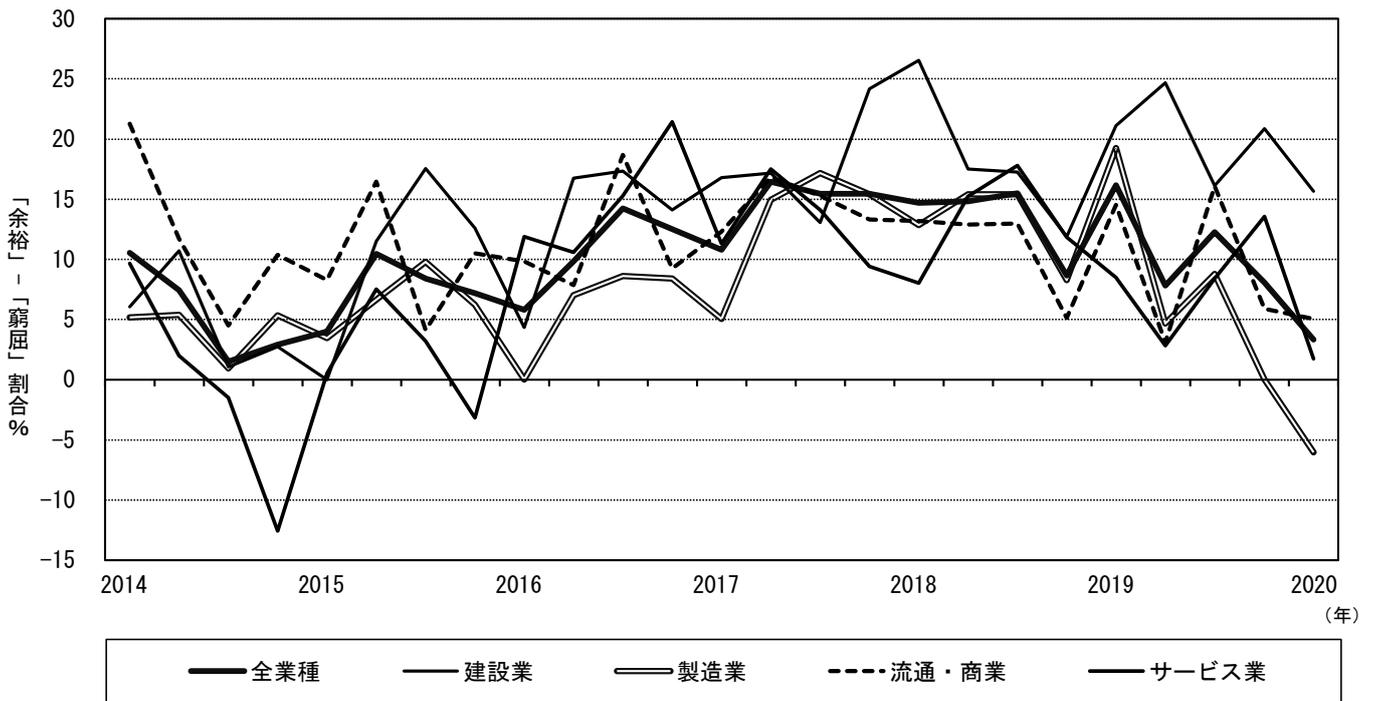


業況判断DI（前年同期比）「好転」－「悪化」割合
業況水準DI「良い」－「悪化」割合

売上高DI（前年同期比）「増加」－「減少」割合
経常利益DI（前年同期比）「増加」－「減少」割合

資金繰り製造業を中心に大きく悪化

資金繰りDIの推移



「民間需要の停滞」2019年から上昇続く

経営上の問題点 主な項目の推移

